

リヴォルヴ学校教育研究所様を通してご支援いただいた

義援金を活用しての農業体験活動



全校児童で畑の土壌作り(5月)

野菜作り名人の方に教えられながら、畑の土壌作りを全校児童で行いました。

低学年児童は雑草を抜き、中・高学年は、肥やしを入れて耕しました。



野菜の育て方を教えてもらっている様子(5月)

野菜作りの名人の方に、野菜の育て方を教えていただきました。

トマトを育てている1・2年生は、水の与え方や芽かきをする時期、支柱の立て方などを教えていただきました。



地域の方と畑に網を取り付けている様子(7月)

実り始めた野菜を野生動物から守るために、地域の方に教えられながら、畑に網を取り付けました。



育てたサツマイモの収穫(10月)

全校縦割り班で春から育ててきたサツマイモを秋に収穫しました。

苗の置き方や水の与え方で、形や大きさがずいぶん違うことが分かりました。



収穫したサツマイモを全校児童で味わう(11月)

収穫したサツマイモで焼きいもを作り、全校児童で味わいました。

育て方を教えていただいた地域の方や校庭に立っている仮設住宅のみなさんにも届けて、味わっていただきました。

*ご支援いただいた義援金を活用して、苗や農作業用具や材料を購入させていただきました。
サツマイモ以外にもトマトやジャガイモなど、各学年の学習にあった野菜を育てました。
宮戸の協働教育事業として、市民センターや地域の方を講師にして活動してきた様子が、
宮城県庁より高く評価していただき、農業体験学習の事例として取り上げられるそうです。